

2. 資料・教材作成事業 19事業

(1)幼稚園(該当無し)

(2)学校(14事業)

番号	分類記号	事業名	事業(活動)概要	所属名・園・学校名	実施時期	回数・延べ時間	実施時間帯	実施場所	対象	延べ人数	連携(団体名・施設名等)	子供の反応・ことば 次年度への課題	ロゴ活用
1	E	桐生の歴史をひも解こう(総合)	学区内にある歴史ある建物から、明治から昭和初期までの桐生の様子をひも解く。	西小学校	11月～2月	毎週2時間	授業内	織物記念館、絹撚記念館、西桐生駅、あーとほーる銚座、のこぎり屋根	小6年	46人	織物記念館、絹撚記念館、西桐生駅、あーとほーる銚座、のこぎり屋根	地域の明治から昭和初期までの様子がわかった。	
2	F	地域のお気に入りを見つけよう(総合的な学習)	自分が住む学校のまわりのお気に入りの場所の写真と説明を地図上に記入しお気に入りマップを作る。	神明小学校	5月	3回・5時間	授業時間内	学区内	小3年	39人	新桐生駅 桜木公民館 比呂佐和神社 中通り大橋	お気に入りの場所の写真集めでは保護者より連携をしていきたい。	
3	G	総合的な学習の時間	中央小版「新里かるた」を作成し、桐生のよさを知る。	新里中央小学校	1月～2月	1回・12時間	授業内	教室	小3年	60人		子供たちにとって身近である新里町内についてのかるた作成についてたいへん意欲的に取り組んでいた。ひいては範囲を広げて関心が高まることも期待できる。	
4	H	昔の道具を調べよう(社会科)	地域に住んでいた昔の人々の使っていた道具や服装などを知り、先人達の知恵を知るとともに、今の生活との変化に気付く。	黒保根小学校	6月	1回・2時間	授業時間内	織物参考館「紫」	小3年	5人	織物参考館「紫」	教科書で見たり、話を聞いたりしただけであったことを実際に自分の目で見て新たな発見がたくさんあったようである。	
5	F	桐生の自然	校舎から見た桐生の自然を風景画にして残す。	清流中学校	1学期	10時間×3クラス	美術科の授業	校舎4Fの絵画室・廊下等	中2年	106人	なし	桐生の自然の変化を感じ取っていた	
6	F	桐生の郷土理解	桐生のよさを調べよう。	清流中学校	2学期～3学期	8時間×3クラス	総合的な学習の時間	教室・パソコン教室	中1年	105人	桐生市役所観光交流課 観光・物産係など	意欲的に桐生のよさやPRを探っていた	

番号	分類記号	事業名	事業(活動)概要	所属名・園・学校名	実施時期	回数・延べ時間	実施時間帯	実施場所	対象	延べ人数	連携(団体名・施設名等)	子供の反応・ことば 次年度への課題	ロゴ活用
7	F	桐生・境野めぐり	市内の歴史、文化、自然環境等に触れ、興味・関心を持った事柄についてさらに詳しく調べ、学習新聞にまとめて発表する。	境野中学校	10月	1回(1日) 4時間	授業内	市内各地	中1年	79人	市内各施設、神社、寺、史跡、等	・生徒は見慣れた史跡等を自分たちで調べることにより、桐生の歴史や良さを実感することができた。 ・移動の安全面への配慮	
8	F	大川美術館見学	学芸員の方から展示されている美術品の説明や鑑賞の仕方を学ぶ。	境野中学校	10月	1回(1日) 1時間	授業内	大川美術館	中1年	18人	大川美術館	・地元の美術館への関心は高く、本物の美術品を参観し、桐生の歴史や良さを実感することができた。 ・移動の安全面への配慮	
9	F	モザイクアート	梅田の自然を全校でモザイクアートにあらわす。	梅田中学校	3学期	4回・4時間	授業内	本校	全校生徒	78人	なし	「3年生を送る会」のイベントとして、全校で梅田の自然について考え、全校でモザイクアートを仕上げる事ができた。	
10	G	桐生の未来を考えよう	調べ学習や体験学習から、桐生の現状や良さを知り、今後さらに桐生を発展させる方策を考える。	相生中学校	11月13日 ～28日	4回・6時間	授業時間内	学校内	中2年	516人	着付け講師 桐生麺類商組合 日本電産サーボ株式会社 宮島工務店 香雲堂	桐生で活躍している方に技術を教わるときには多くの生徒が積極的に取り組み、その産業の持つ良さを十分に体験できた。それを桐生を発展させる方策を考えるときにつながりが薄くなってしまった。	
11	F	桐生市の魅力を探ろう!	桐生市の魅力(織物・食べ物・自然・イベント・有名人・建造物など)を互いに挙げ、班でテーマを決める。班内で調査事項を分担して調べ、発表会を行う。	桜木中学校	5～6月中	調査・まとめ 5時間 発表2時間	授業時間内	桜木中学校教室、PC室、図書室	中1年	76人	特になし	〈子どもの反応〉 ・友だちの発表を聞き、自分の知らない桐生の魅力を知ることができた。 ・知っている内容であっても、友だちの発表を聴くことを通じて、新しい発見や魅力に気付くことができた。 〈次年度の課題〉 ・生徒が発表しやすいように過年度の生徒が作成した掲示物等を見本として活用したい。 ・生徒の関心意欲が高まるような資料を提示したい。	
12	F	黒保根めぐり	黒保根の名所や世界に伝えたい黒保根の歴史を調べたり、実際に見学したりして、世界に発信していくための資料・情報を集める。	黒保根中学校	9月20日	4時間	授業内	黒保根地区内の名所	中3年	8人	医光寺、亀石、第二番学校、歴史民俗資料館、水沼製糸場、水沼八木原曼珠沙華公園	身近な所に歴史的価値のある史跡や名勝がいくつもあることを再認識できた。	

番号	分類記号	事業名	事業(活動)概要	所属名・園・学校名	実施時期	回数・延べ時間	実施時間帯	実施場所	対象	延べ人数	連携(団体名・施設名等)	子供の反応・ことば 次年度への課題	ロゴ活用
13	F	桐生めぐり	黒保根から桐生市に視野を広げ、名所や世界に伝えたい歴史を調べたり、実際に見学したりして、世界に発信していくための資料・情報を集める。	黒保根中学校	10月23日	5時間	授業内	桐生市内の名所	中3年	8人	MAYU号にて移動。四辻の斎嘉、桐生天満宮、からくり人形、後藤織物、桐生織物記念館、群馬大学同窓会記念館	市内の名所旧跡を実際に見学し話を聞くことで黒保根とのつながりや地域の良さを再認識できた。	
14	F	桐生織の歴史と文化を伝える家庭科の授業	1年生全員が家庭科の授業で桐生織について学び、その歴史と文化を伝えるため、市内の小学校1年生に桐生織で作製した御守を贈る。	商業高等学校	9~10月	8回・8時間	授業時間内	桐生商業高校	桐生商業高校1年生徒	241人	桐生市内、その周辺の織物関係企業	自分たちが桐生織についてよく知るきっかけとなった。また、この文化を子どもたちに伝えていかなければと考えるようになった。	

(3)教育委員会部局(5事業)

番号	分類記号	事業名	事業(活動)概要	所属名・園・学校名	実施時期	回数・延べ時間	実施時間帯	実施場所	対象	延べ人数	連携(団体名・施設名等)	子供の反応・ことば 次年度への課題	ロゴ活用
1	F	水禍事故防止チラシ・ポスター(かっぱのおさら)チラシ配布事業	水禍事故防止チラシ・ポスター(かっぱのおさら)を作成し、保育園・幼稚園・小中高特別支援学校を通じ、各家庭に配布することで青少年の水禍事故防止及び河川愛護の啓発・郷土の自然に対する理解を深める。	青少年課	4~3月			市内保育園幼稚園 小中高特別支援学校	幼・保育園児 小中高特別支援学校 児童生徒、保護者	10269人	市内保育園、幼稚園、小中高特別支援学校、警察署、河川管理者、青少年センター補導委員、群馬大学理工学部、桐生大学	・チラシ・ポスター(かっぱのおさら)が親しみやすく、河川での事故防止が図れた。	
2	F	パワーポイント講習会	群大の坂本さんを講師にお迎えして、年度末に行われる総合発表会の資料作成のためにパワーポイントを学んだ。	未来創生塾	2月8日	1回・5時間	土曜日終日	群大図書館	未来創生塾 全学年	47人	群馬大学、桐生市、桐生商工会議所	初めてパワーポイントを使ってみました。色々な事ができずございました。資料作りは、難しいと思ったけど、丁寧に教えてもらったので分かりやすかったです。	
3	F	未来創生塾独立専攻科広報グループ	未来創生塾で学んだことを生かし、地域を活性化させるための企画を自ら立案・検討し、実際に活動していく。未来創生塾にて実施している特徴的な活動を取材し、その活動や効果をニュースレターとして発行することにより、桐生の良さや可能性を知らせるための活動を実施している。	未来創生塾	R元年4月~R2年3月	15回・30時間	土もしくは日曜日夕方	群大総研棟502、他	未来創生塾 独立専攻科	100人	群馬大学、桐生市、桐生商工会議所、桐生タイムス社	桐生タイムスさんとの連携で、未来創生塾新聞第1号、2号を作成した。活動の取材と新聞記事にするためのノウハウを学び、実施に制作する作業は貴重な体験でした。今後は引き続き、活動の取材とニュース発行、そして桐生タイムス連載を続けたい。	

番号	分類記号	事業名	事業(活動)概要	所属名・園・学校名	実施時期	回数・延べ時間	実施時間帯	実施場所	対象	延べ人数	連携(団体名・施設名等)	子供の反応・ことば 次年度への課題	ロゴ活用
4	G	わが街体験!(芸術編)ピンホールカメラ(初級編)	東京藝術大学の赤池先生を講師にお迎えし、写真の歴史やピンホールカメラの仕組みを学んだ。実際にピンホールカメラを作り、写真撮影することで、その知識が一層確かなものになった。	未来創生塾	10月6日	1回・7時間	日曜日終日	群馬大学 総合研究棟506、 群馬大学 原動機棟	未来創生塾 院生	15人	群馬大学、桐生市、桐生商工会議所	・今回の活動を通して、「一枚の写真を撮る」ということは、様々な労力が要り、先人達の色々な創意工夫がなされてきたものなのだなと感じました。 ・最初はうまくいかなかったけど、だんだんと上手になっていたので、良かったです。またこの手作りカメラで写真を撮りたいなと思いました。	
5	G	わが街体験!(芸術編)陶芸(陶芸家椎葉様講義と実習焼き)	陶芸家・椎葉様を講師にお迎えし、陶芸についての講義を受け、釉の3色塗りやお茶碗などの創作陶芸を行った。	未来創生塾	11月16日	1回・6時間	土曜日終日	群馬大学 総合研究棟502	未来創生塾 2年生	28人	群馬大学、桐生市、桐生商工会議所、貴原窯(渋川)	・粘土に触れた感覚を大事にしながら作った。思っているイメージと、自分の手の動かし方が違うことがよく分かった。 ・泥団子を作っている感じで楽しかった。こうやって感性が育ってくるのかなと思った。 ・うまくできなかったと思ったけど、それなりになるとの先生の言葉に、できあがりがとても楽しみです。	

(4)市長部局(該当無し)